

東京都・多摩市合同総合防災訓練

南多摩ブロックと東京都災害 VC アクションプラン推進会議による 合同訓練 報告書

南多摩ブロックのボランティア・市民活動センター職員や要配慮者を中心とした市民、NPO 等（アクションプラン推進会議参加団体）が平時に連携して訓練を行うことで、互いの特徴や強み、弱みを知り、有事の連携を考えるきっかけとすることを目的に、下記のように合同訓練を実施した。また、この訓練は東京都・多摩市合同総合防災訓練の1コマとして実施した。

日 時 2019年9月1日（日）9時00分～12時30分

場 所 多摩市総合福祉センターから多摩中央公園（総合防災訓練会場）まで

※防災まち歩きのルート スタート地点（多摩市総合福祉センター）→ゴール（多摩中央公園）

参加者 118名

- ・ 要配慮者8名
※要配慮者は視覚障害者4名、聴覚障がい2名、外国人2名・・・8名が参加
- ・ 支援団体23名
※アクションプラン推進会議からは、東京都生活協同組合連合会（コープ災害ボランティアネットワーク）、東社協区市町村社協部会（中野区社会福祉協議会、東京災害ボランティアネットワーク東京都社会福祉協議会、東京ボランティア・市民活動センター）が参加。また、東京都生活文化局職員にも参加頂いた。
- ・ 多摩市社会福祉協議会役員・職員：44名
- ・ 多摩市ボランティア・市民活動支援センター運営委員：2名
- ・ 災害ボランティアセンター運営ボランティア育成専門委員会2名
- ・ 多摩市災害ボランティアセンター運営ボランティア9名
- ・ 南多摩ブロック社協ボランティアセンター：13名
- ・ 多摩青年会議所4名
- ・ 南多摩地区市民13名

内 容

（1）多摩市災害ボランティアセンター設置・運営訓練

多摩市社会福祉協議会の職員が中心となり、①ボランティア受付班、②ニーズ受付班、③マッチング班、④資材班、⑤送り出し班、の5つに分かれ、それぞれを体験した。例えば、①ボランティア受付班では、参加者がボランティア役と受付役に分かれ、実際に災害ボランティアセンターに来た想定で受付を実際に行ってみるなどの訓練を行った。

《当日の様子》



マッチング班



送り出し班

(2) 防災まち歩き

5コースを10グループに分かれ、多摩市総合福祉センターから総合防災訓練会場まで、防災まちあるきを実施した。防災まち歩きでは、次のポイントを回るコースを設定した。

唐木田菖蒲館（コミュニティセンター）／災害用自販機／大松台小学校・防災倉庫／鶴巻西公園・みどりの家／末日聖徒イエス・キリスト教会多摩センター／ゆいまーる中沢（サービス付き高齢者向け住宅）／多摩南部地域病院／島田療育センター

唐木田菖蒲館やゆいまーる中沢では防災の取組みの説明をいただいた。また、休憩所となった末日聖徒イエス・キリスト教会では宣教師2人がそのまま防災まち歩きに参加し、ゴールまで一緒に歩いてくださった。なお、被災時に留意すべきポイントなどをファシリテーター（南多摩ブロックの各社協職員・アクションプラン推進会議参加団体）より説明した。振り返りは、ゴール到着後、各グループにて行った。

《当日の様子》



宣教師も一緒にまち歩きに参加



大松台小学校の防災倉庫の中身を確認



停電時に人的操作で商品を出せる自販機



ゆいまーる中沢で災害対策の説明を伺う

(3) ブース展示の様子



ブースでは災害に関する展示や視覚障害者によるマッサージを実施



多摩市社協とアクションプラン推進会議と合同でブース出展